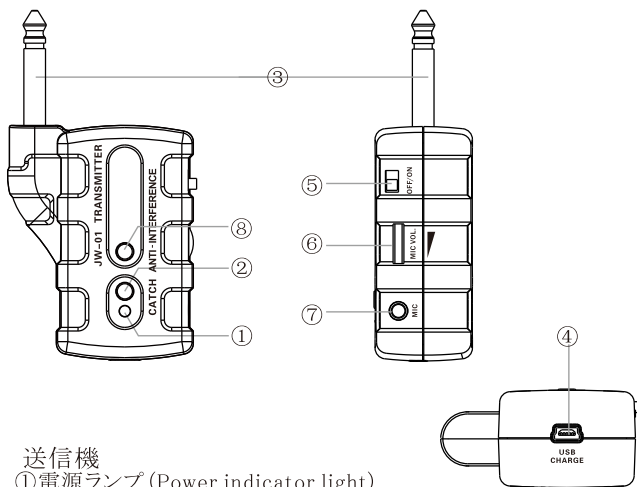


ご購入ありがとうございます。ご使用前に必ずこの説明書をよく読み、記載事項に従って正しくご使用ください。

I. 注意:

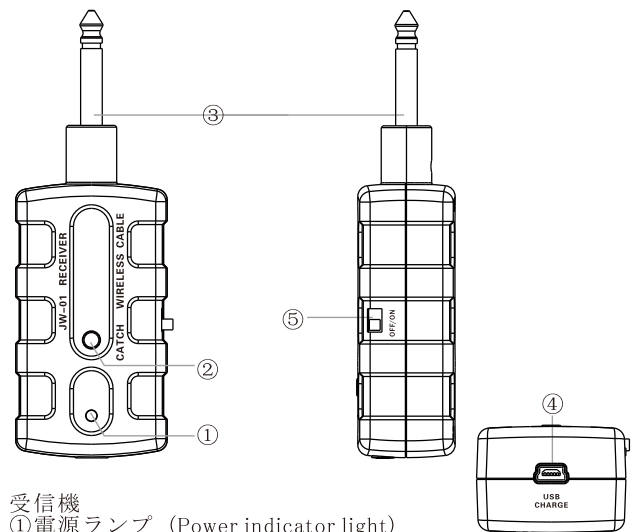
- 1.ご自身で本品を分解/修理しないでください。
- 2.次のような環境での使用/保管はお控えください:高温、多湿、汚れの強い場所、強い衝撃や振動の加わる場所。
- 3.本品を硬いものにぶつけたり落としたりしないでください。
- 4.ダメージを与える可能性があるため、洗剤やアルコールを用いたお手入れはお控えください。
- 5.送信機と受信機が互いの電波をキャッチできる場合にのみ、正常に作動します。
- 6.ワイヤレスルーターやその他のワイヤレス機器から本品を十分離してお使いください。
- 7.大きな障害があると、送信距離に影響が出る場合があります。
- 8.同じエリアで最大4つのペアを使用することができます。同時に使用する場合は、2つのペアまでのご使用をお勧めいたします。
- 9.電源ランプが消える、もしくは赤く光る場合は、充電が減っているサインです。
- 10.使用しない場合は、電源をお切りください。
- 11.リチウムバッテリーの性質上、若干の自己放電が発生します。長時間使用しない場合には、過放電による低電圧保護状態にならないよう、2ヶ月以内に充電するようにしてください。
- 12.充電と放電を繰り返すことで、リチウムバッテリーの容量は低下します。それに伴い、持続パフォーマンスも低下します。

II. ファンクションキー



送信機

- ①電源ランプ (Power indicator light)
- ②キャッチボタン (Catch button)
- ③信号入力用プラグ (Plug for inputting signals)
- ④充電用USB端子 (USB interface for recharging)
- ⑤OFF/ONスイッチ (OFF/ON switch)
- ⑥マイク音量調節スイッチ (Mic Volume switch)
- ⑦マイク入力端子 (Mic inputting interface)
- ⑧混信防止ボタン (Anti-Interference button)



受信機

- ①電源ランプ (Power indicator light)
- ②キャッチボタン (Catch button)
- ③信号出力用プラグ (Plug for outputting signals)
- ④充電用USB端子 (USB interface for recharging)
- ⑤OFF/ONスイッチ (OFF/ON switch)

III. 使用方法

1. 送信機1台から受信機1台:

- 1) まず送信機と受信機の電源を入れ、ペアリングを行ないます。送信機の電源ランプが黄色(正常)、または赤(低残量バッテリー)に光ると、ペアリングが正しく行なわれています。もし正しくペアリングができない場合は、送信機と受信機のCatchボタンを同時に3秒以上長押ししてください。すると、送信機が15秒赤く点滅し、受信機から断続的な”du”という音が聞こえてきます。受信機からの”du”の音が3秒間続いたら、ペアリングは成功です。すると送信機の赤の点滅は消え、受信機の電源ランプが赤に光ります。スムーズにペアリングができない場合は、上記の操作を繰り返してください。
- 2) 一度ペアリングに成功すると、記憶システムにより、充電を挟んでもペアリングされた状態が続きます。受信機のランプは黄色か赤になります(赤は低残量バッテリー)。さらに別の似たような製品ともペアリングをしたい場合は、1)に従って操作するだけです。
- 3) ペアリングの失敗や断続音信号、ランプの点滅が発生した場合には、十分な送信距離間であれば、混信防止ボタン (Anti-Interference button) を押して周波数モードを変更してください。電波の干渉が回避されます。

2. マイク入力

本機専用マイク(近日発売予定)用の入力端子です。その他のマイクは接続できません。MIC VOLも同様に専用マイク以外ではご使用いただけません。

IV. リチウムバッテリーの充電方法:

- 1.本体の電源を入れても電源ランプがつかない場合は、充電が減っています。その場合は充電してください。
- 2.充電時間の短縮のため、本体の電源をOFFにして充電することをお勧めします。
- 3.充電中でも電源ランプが赤く点灯している場合は、充電がまだ十分でないことを意味しています。十分充電できれば、電源ランプは消灯します。
- 4.付属のアダプターやUSBケーブルのご使用をおすすめします。
- 5.長い期間本品を使用しない場合や、充電を忘れた場合には、バッテリーが保護状態になることがあります。その場合、しばらくプリチャージが必要です。それに伴い充電に要する時間も増加します。